

## 第 65 回担当理事会議事要録

日 時	2015 年 9 月 13 日（日） 13：30～17：00	
場 所	一般財団法人 ゆうちよ財団会議室 〒101-0061 東京都千代田区三崎町 3-7-4	
出席者	会 長	米山 高生
	副会長	大藪 千穂
	総務担当理事	天野 晴子
	同	植野 和文
	同	小笠原浩一
	同	鴨池 治
	同	小林 毅
	同	菅原 浩信
	同	永田 邦和
	同	西脇 廣治
	同	宮村 健一郎
	渉外担当理事	上村 協子
	同	富樫 光隆
	財務担当理事	石田 成則
		(14 名)
	事務局	芹沢 佐知子 小島 忍

### 【審議事項】

審議事項として以下の 6 議案が審議され、いずれも原案通り承認された。

- (第 1 号議案) 担当理事会・理事会の書記（議事録作成）について
- (第 2 号議案) 「生活経済学会活性化」にかかる取り組み等について
- (第 3 号議案) 「シニア会員制度（仮称）」の創設について
- (第 4 号議案) 会則・規程の改定について
- (第 5 号議案) 「名誉会員」の推薦について
- (第 6 号議案) 生活経済学会新入会員の承認について

### 【報告事項】

- 1 第 32 回研究大会開催について
- 2 2015 年度部会開催の日程等について
- 3 部会会計報告書の作成要領について
- 4 その他

審議開始に先立ち、第16期担当理事が顔を合わせる初めての会合であることから、自己紹介を兼ねて、所属部会・委員会の現状・問題点等について報告した。特に、会員数の少ない地方部会においては、部会運営をするうえで部会長の負担が大きいこと、部会において報告者の確保に苦勞している現状について報告があった。

## 【審議事項】

### (第1号議案) 担当理事会・理事会の書記（議事録作成）について

会長より担当理事会・理事会の議事録作成について諮られ、石田担当理事が担当することとなった。

### (第2号議案) 「生活経済学会活性化」にかかる取り組み等について

会長より生活経済学会活性化にかかる取り組みについて説明があり、またその進捗状況などについて検討することが諮られた。いくつかの検討課題が出され、実施済みの施策についても、運用のあり方について討議された。

#### ○「項目1 賛助会員会費を1口2万円に引き下げる」について

賛助会員の会費について、1口10万円から2万円に引き下げた背景は、産学連携施策等により、地方部会と支店や小規模企業にも気軽に賛助会員になっていただくことを目的とした経緯があった。今回新規加入した賛助会員は、従来は1口10万円であり5口以上をお願いしたものの「1口のみ」であった。そこで、今後大口の法人から賛助会員について照会があった場合については、「できれば5口以上」の加入を口頭にてお願いすることとした。

#### ○「項目4 学会誌に投稿する前に、部会や研究大会での報告を勧奨する」について

部会や研究大会での報告者が集まりにくい現状を踏まえ、①部会長と座長が、大会・部会の報告者に対して査読者1名を編集委員会に推薦できることや、②大学院生に限定して、部会長や座長が推薦する報告者には投稿料を免除することを、何らかの方法で報告者募集の際に周知することとした。公募要領に記載するなど文言で会員に通知する場合には、査読制度の厳格性に関する誤解のないようにつとめ、また各部会での会員周知のバラツキがないように慎重に検討した上でおこなうものとする。

#### ○「項目8 理事や委員会委員の任期を3年にする」について

理事と委員会委員の任期については現行のまま任期を2年とすることとした。

#### ○「項目9 共同研究助成制度」について

共同研究助成制度については、昨年度に2件の共同研究に対して研究費が支給され、動き出している。募集時に、支給ともなうオブリゲーションを明記し、運用上の改善点について更に詰めることとなった。

#### ○「項目16 部会の集約」について

部会集約のあり方について、各部会長から意見が出された。当面部会の廃止については考えないが、いくつかの部会で出席者の継続的な減少や部会収支の悪化などが生じていることから、近隣部会間の協力関係の構築を促すブロック制が提案され、今後も継続的に検討することとなった。

## ○「項目 17 学術交流委員会」について

学術交流委員会では、昨年度に該当委員会主体で金融教育に関するアンケートが実施され、その内容が他の学会で報告されるなど、一定の成果を挙げていることが確認された。

このたびの活性化策に関連して、企画委員会から、学会シンポジウムの一般公開化と学会誌の特集号について検討依頼があった。これらの点について、今後、編集委員会を中心に検討することになった。

なお、これら以外の施策については、従来通り、活性化策を進めていくこととした。

## (第 3 号議案)「シニア会員制度 (仮称)」の創設について

会長より「シニア会員制度 (仮称)」の創設について諮られた。これは、長く学会活動に貢献した会員が、定年退職した後も継続的に学会参加できる環境を整備する目的をもつ。提案を受けて、具体的な優遇策が検討された。現行の名誉会員枠を拡大する案や終身会員制を設けることその他、学会財政に過重にならない範囲での会費割引案が出された。種々議論の末、「シニア会員制度」創設自体については承認が得られた。詳細な規程については、会長が原案を作成したうえで、メールによる理事会に付託することとなった。

## (第 4 号議案) 会則・規程の改訂について

会長より会則・規程の改定について説明があり、一部修正 (新・旧の入れ替え) のうえ、了承された。この後、理事会、総会での承認後に改訂することとなる。

## (第 5 号議案)「名誉会員」の推薦について

北海道部会長の菅原担当理事より名誉会員の推薦について説明があり、原案通り了承された。

## (第 6 号議案) 生活経済学会新入会員の承認について

新入会員 (3 名 : 正会員 2 名、学生会員 1 名) の申し込みがあり、審議の後承認された。

## 【報告事項】

### 1 第 32 回研究大会開催について

第 32 回研究大会開催について、中四国部会長の西脇担当理事から説明があった。

### 2 2015 年度部会開催の日程等について

2015 年度部会開催の日程等について、会長から説明があった。

### 3 「部会会計報告書」の作成要領について

2015 年度部会会計報告書の作成要領について、事務局より説明があった。

### 4 その他

2015 年度の学会賞等の推薦募集について周知があった。受付期間は 9 月 30 日迄。